



平成 30 年 4 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム
代 表 者 代表取締役社長 宮 原 年 明
(コード番号 1919 東証第 1 部)
問 合 せ 執行役員管理本部長 岩 城 光 宏
(TEL. 027-330-5750)
当社の親会社 株式会社ヤマダ電機
代 表 者 代表取締役社長 桑 野 光 正
(コード番号 9831 東証第 1 部)

〔訂正・数値データ訂正〕「平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の
一部訂正について

平成 30 年 1 月 12 日に公表いたしました「平成 30 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データにつきましても送信いたします。
なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

当社は平成 30 年 1 月 12 日付で「平成 30 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」を公表いたしました。その後において、売上高および各段階利益を訂正すべき事項が判明しましたので、下記の通り訂正いたします。

訂正の対象となる工事は、リフォーム事業の一環として取り組んだ特殊大型案件のリノベーション工事（延べ約 1 万室の原状回復工事。）であり、これは当社にとって新規事業であり、当社は基本となる工事及びそれに付随する追加変更工事にて売上高を認識しておりましたが、第 3 四半期末で完了した工事において、その後の施主との追加変更にかかる工事金額内容を精査した結果減額となるものが発生したことから第 3 四半期の売上高及びそれに付随する間接費の見直し、また、未収入金変更に伴う貸倒引当金及び課税所得変更に伴う付加価値割の見直しを行いました。

この訂正により、平成 30 年 2 月期 第 3 四半期において、売上高が 419 百万円、売上総利益が 429 百万円それぞれ減少し、営業損失が 424 百万円、経常損失が 424 百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失が 424 百万円それぞれ増加いたします。

なお、通期決算については平成 30 年 4 月 10 日に公表の「業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」に記載の水準から大きな変更はなく、本日公表の「平成 30 年 2 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の通りです。

詳細な内訳は次ページに記載しております。

(単位：百万円)

売上高（訂正前）	33,285
追加変更に伴う減額工事高	△419
売上高（訂正後）	32,866
売上原価（訂正前）	26,230
売上高変更に伴う間接費等見直し	9
売上原価（訂正後）	26,240
売上総利益（訂正後）	6,625
販売費及び一般管理費（訂正前）	7,395
完工工事未収入金減少に伴う貸倒引当金繰入額の減少	△1
課税所得変更に伴う付加価値割額の減少	△3
販売費及び一般管理費（訂正後）	7,390
営業損失（△）（訂正後）	△765
経常損失（△）（訂正後）	△753
税金等調整前四半期純損失（△）（訂正後）	△748
四半期純損失（△）（訂正後）	△827
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）（訂正後）	△832

2. 訂正の内容

(1) サマリー情報

【訂正前】

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	33,285	6.7	△340	—	△329	—	△408	—
29年2月期第3四半期	31,189	△7.0	△507	—	△524	—	△697	—

（注）包括利益 30年2月期第3四半期 △399 百万円 （－％） 29年2月期第3四半期 △687 百万円 （－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	△2.00	—
29年2月期第3四半期	△3.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	29,488	3,699	12.4	17.90
29年2月期	24,401	4,100	16.6	19.89

（参考）自己資本 30年2月期第3四半期 3,650 百万円 29年2月期 4,055 百万円

【訂正後】

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	32,866	5.4	△765	—	△753	—	△832	—
29年2月期第3四半期	31,189	△7.0	△507	—	△524	—	△697	—

（注）包括利益 30年2月期第3四半期 △824 百万円 （－％） 29年2月期第3四半期 △687 百万円 （－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	△4.08	—
29年2月期第3四半期	△3.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	29,463	3,275	11.0	15.82
29年2月期	24,401	4,100	16.6	19.89

（参考）自己資本 30年2月期第3四半期 3,226 百万円 29年2月期 4,055 百万円

(2) 添付資料2ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【訂正前】

以上の重点施策推進の結果、当第3四半期累計期間の受注高は前年同期比43%増、売上高についても、332億8千5百万円（前年同期比6.7%増）（ご参考：当第3四半期連結会計期間〔平成29年9月1日～11月30日〕売上高128億8千6百万円、前年同期比26.9%増）となりました。また、人員の積極採用や展示場建設による減価償却費など先行投資による経費負担の増加がありましたが、利益面は前年に対して改善し、営業損失は3億4千万円（前年同期比1億6千7百万円改善）（ご参考：当第3四半期連結会計期間〔平成29年9月1日～11月30日〕営業利益1億8千4百万円、前年同期比1億4千9百万円改善）、経常損失は3億2千9百万円（前年同期比1億9千5百万円改善）（ご参考：当第3四半期連結会計期間〔平成29年9月1日～11月30日〕経常利益1億9千1百万円、前年同期比1億6千万円改善）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億8百万円（前年同期比2億8千9百万円改善）（ご参考：当第3四半期連結会計期間〔平成29年9月1日～11月30日〕親会社株主に帰属する四半期純利益1億7千2百万円、前年同期比2億2千4百万円改善）となりました。

【訂正後】

以上の重点施策推進の結果、当第3四半期累計期間の受注高は前年同期比43%増、売上高についても、328億6千6百万円（前年同期比5.4%増）となりました。また、人員の積極採用や展示場建設による減価償却費など先行投資による経費負担の増加があり、営業損失は7億6千5百万円（前年同期5億7百万円）、経常損失は7億5千3百万円（前年同期5億2千4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8億3千2百万円（前年同期6億9千7百万円）となりました。

(3) 添付資料3ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 財政状態に関する説明

【訂正前】

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べて50億8千7百万円増加し、294億8千8百万円となりました。その主な要因は、売上高の増加により完成工事未収入金が37億7千3百万円、分譲物件の仕入等により販売用不動産及び仕掛販売用不動産が合わせて14億7千3百万円増加したこと等によります。

負債総額は、前連結会計年度末に比べて54億8千7百万円増加し、257億8千8百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が55億1千4百万円増加したこと等によります。

純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純損失4億8百万円の計上等により、前連結会計年度末に比べて4億円減少し、36億9千9百万円となりました。自己資本比率は12.4%となりました。

【訂正後】

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べて50億6千2百万円増加し、294億6千3百万円となりました。その主な要因は、売上高の増加により完成工事未収入金が33億8千7百万円、分譲物件の仕入等により販売用不動産及び仕掛販売用不動産が合わせて14億5千1百万円増加したこと等によります。

負債総額は、前連結会計年度末に比べて58億8千7百万円増加し、261億8千7百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が55億1千4百万円増加したこと等によります。

純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純損失8億3千2百万円の計上等により、前連結会計年度末に比べて8億2千4百万円減少し、32億7千5百万円となりました。自己資本比率は11.0%となりました。

(4) 添付資料4 ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,349	2,549
受取手形・完成工事未収入金等	3,558	7,397
未成工事支出金	556	1,448
販売用不動産	3,160	3,731
仕掛販売用不動産	98	1,000
材料貯蔵品	315	353
その他	422	618
貸倒引当金	△117	△106
流動資産合計	12,344	16,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,625	9,308
土地	6,580	6,570
その他	2,262	2,153
減価償却累計額	△7,037	△7,152
有形固定資産合計	10,431	10,881
無形固定資産	93	86
投資その他の資産		
その他	2,135	2,144
貸倒引当金	△603	△617
投資その他の資産合計	1,531	1,527
固定資産合計	12,056	12,494
資産合計	24,401	29,488
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,750	5,525
短期借入金	—	5,514
未払法人税等	107	76
未成工事受入金	1,735	2,403
賞与引当金	60	90
完成工事補償引当金	197	196
工事損失引当金	14	14
その他	1,922	1,498
流動負債合計	9,788	15,320
固定負債		
関係会社長期借入金	8,000	8,000
退職給付に係る負債	431	459
資産除去債務	203	225
その他	1,878	1,782
固定負債合計	10,512	10,468
負債合計	20,300	25,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,068	9,068
資本剰余金	1,100	1,100
利益剰余金	△6,329	<u>△6,737</u>
自己株式	△10	△10
株主資本合計	3,829	<u>3,420</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	10
土地再評価差額金	225	225
退職給付に係る調整累計額	△13	△6
その他の包括利益累計額合計	226	229
非支配株主持分	44	49
純資産合計	4,100	<u>3,699</u>
負債純資産合計	24,401	<u>29,488</u>

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,349	2,549
受取手形・完成工事未収入金等	3,558	6,946
未成工事支出金	556	1,833
販売用不動産	3,160	3,710
仕掛販売用不動産	98	1,000
材料貯蔵品	315	353
その他	422	680
貸倒引当金	△117	△105
流動資産合計	12,344	16,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,625	9,308
土地	6,580	6,570
その他	2,262	2,153
減価償却累計額	△7,037	△7,152
有形固定資産合計	10,431	10,881
無形固定資産	93	86
投資その他の資産		
その他	2,135	2,144
貸倒引当金	△603	△617
投資その他の資産合計	1,531	1,527
固定資産合計	12,056	12,494
資産合計	24,401	29,463
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,750	5,928
短期借入金	—	5,514
未払法人税等	107	73
未成工事受入金	1,735	2,403
賞与引当金	60	90
完成工事補償引当金	197	196
工事損失引当金	14	14
その他	1,922	1,498
流動負債合計	9,788	15,719
固定負債		
関係会社長期借入金	8,000	8,000
退職給付に係る負債	431	459
資産除去債務	203	225
その他	1,878	1,782
固定負債合計	10,512	10,468
負債合計	20,300	26,187

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,068	9,068
資本剰余金	1,100	1,100
利益剰余金	△6,329	<u>△7,161</u>
自己株式	△10	△10
株主資本合計	3,829	<u>2,996</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	10
土地再評価差額金	225	225
退職給付に係る調整累計額	△13	△6
その他の包括利益累計額合計	226	229
非支配株主持分	44	49
純資産合計	4,100	<u>3,275</u>
負債純資産合計	24,401	<u>29,463</u>

(5) 添付資料 6 ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

【訂正前】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
売上高	31,189	33,285
売上原価	24,775	26,230
売上総利益	6,414	7,054
販売費及び一般管理費	6,921	7,395
営業損失(△)	△507	△340
営業外収益		
受取利息	6	4
受取賃貸料	44	44
解約金収入	7	5
その他	23	53
営業外収益合計	80	108
営業外費用		
支払利息	73	68
賃貸収入原価	23	22
その他	1	5
営業外費用合計	98	96
経常損失(△)	△524	△329
特別利益		
固定資産売却益	14	5
特別利益合計	14	5
特別損失		
固定資産売却損	—	0
本社移転費用	109	—
その他	2	—
特別損失合計	112	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△622	△323
法人税、住民税及び事業税	74	67
法人税等調整額	△3	11
法人税等合計	70	79
四半期純損失(△)	△693	△403
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△697	△408

【訂正後】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
売上高	31,189	32,866
売上原価	24,775	26,240
売上総利益	6,414	6,625
販売費及び一般管理費	6,921	7,390
営業損失(△)	△507	△765
営業外収益		
受取利息	6	4
受取賃貸料	44	44
解約金収入	7	5
その他	23	53
営業外収益合計	80	108
営業外費用		
支払利息	73	68
賃貸収入原価	23	22
その他	1	5
営業外費用合計	98	96
経常損失(△)	△524	△753
特別利益		
固定資産売却益	14	5
特別利益合計	14	5
特別損失		
固定資産売却損	—	0
本社移転費用	109	—
その他	2	—
特別損失合計	112	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△622	△748
法人税、住民税及び事業税	74	67
法人税等調整額	△3	11
法人税等合計	70	79
四半期純損失(△)	△693	△827
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△697	△832

(6) 添付資料7ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

【訂正前】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純損失(△)	△693	△403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△3
土地再評価差額金	5	—
退職給付に係る調整額	4	6
その他の包括利益合計	5	3
四半期包括利益	△687	△399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△691	△404
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

【訂正後】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純損失(△)	△693	△827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△3
土地再評価差額金	5	—
退職給付に係る調整額	4	6
その他の包括利益合計	5	3
四半期包括利益	△687	△824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△691	△828
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

(7) 添付資料 9 ページ

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

【訂正前】

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	住宅事業	リフォーム事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,769	<u>8,940</u>	406	<u>33,116</u>	168	<u>33,285</u>	—	<u>33,285</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	3	11	—	11	△11	—
計	23,777	<u>8,940</u>	410	<u>33,128</u>	168	<u>33,296</u>	△11	<u>33,285</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>△321</u>	<u>345</u>	201	<u>225</u>	109	<u>335</u>	△675	<u>△340</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業部門であり、保険部門及び売電部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△675百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【訂正後】

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	住宅事業	リフォーム事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,769	<u>8,521</u>	406	<u>32,697</u>	168	<u>32,866</u>	—	<u>32,866</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	3	11	—	11	△11	—
計	23,777	<u>8,521</u>	410	<u>32,708</u>	168	<u>32,877</u>	△11	<u>32,866</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>△326</u>	<u>△73</u>	201	<u>△198</u>	109	<u>△89</u>	△675	<u>△765</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業部門であり、保険部門及び売電部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△675百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。